

成願寺

季報

117

平成30年6月18日
(2018年)

目次

「速疾頓成、皆与願満足の聖天さま」鈴木英全……………1	春の観音詣り感想文紹介・報告……………4
「時間の流れ」中野坂上寺ヨガ講師丸茂 磨……………7	山内短信……………8

発行 多宝山成願寺
〒164-0012 東京都
中野区本町 2-26-6
電話 03-3372-2711
制作 地人館

平成三十年春の観音詣り説教

速疾頓成、皆与願満足の聖天さま

埼玉県妻沼聖天山 歓喜院住職 鈴木英全

めいめま
妻沼の聖天さま。曾て賑わった利根川の舟運を想い、
南北に走る現在の街道往來を眺め乍ら、一昔前、母親と
二度三度参拝に訪れて、また太田市の所用帰りにも立ち
寄った思い出に浸る私でした。 住職 小林貢人

成願寺のみなさま、本日は遠方までお詣りくださ
いまして誠にありがとうございます。本日は成願寺



埼玉県 妻沼聖天山 歓喜院 住職
鈴木英全上人

◎孟蘭盆先祖まつり（おせがき）のお知らせ

七月十一日（水）朝十時半受付開始

十二時半 開山・歴住諸大和尚報恩供養

十三時 説教埼玉県東陽寺前任職鈴木永城老師

十四時 先祖まつり法要・檀信徒総回向

※東京地方は七月十三日から十五日がお盆です。その間、檀
信徒各家へ棚経に伺います。これまで伺っていないお宅でこ
希望の方は、寺務所までお申し込みください。

◎秋の観音詣り「東北のパワースポット巡拝」のお知らせ

鶴岡市の出羽三山神社にてご祈禱後、五百羅漢特別公
開中の巨利善寶寺に拝登。宿坊泊、朝のお勤めに参列。
二日目は世界一のクラゲの種類を有す加茂水族館、写真
家土門拳の記念館を見学し、即身仏が安置される海向寺
を参拝。宿は名湯鳴子温泉「鳴子ホテル」泊。三日目は
東北の本山と呼ばれる正法寺を拝登。山主の盛田正孝老
師にお話を賜り、その後、世界遺産中尊寺を参拝します。

日程 十一月十二日（月）～十四日（水）の二泊

会費 六万八千円（見込み）

のお檀家さんと観音さまの信者のみなさんの旅行会と伺っております。お檀家さんがいらして良いなと思いますのは、実は当山は檀家は一軒もございませんで、信者のみなさん、お詣りにおいでくださるみなさんによつて支えていただいております。

檀家がありませんので、総代さんは「信徒総代」。六人にお願ひしているうち、お二人は曹洞宗が菩提寺ですし、浄土宗の方もいらっしゃる。菩提寺では「檀家総代」をおつとめの方もおいでで、当山は真言宗でございしますが、こうして宗旨を超えて信仰していただいているのが、この妻沼の聖天さまというところでございます。

本尊の聖天さまは仏教の神さまです。仏教をお護りする力をお持ちです。真言宗や天台宗の密教寺院では、本尊さま守護のため聖天堂をお持ちのお寺も多い。とくに大きなご寺院さま、成田の新勝寺さまや日野の高幡不動さま、浅草寺さまなどには聖天堂があつて、その甚大なお力で本尊さまをお護りされているわけです。

当山の聖天さまは、いまから八百四十年ほど前に斎藤実盛公という方が本尊としてお祀りをされました。ということは、当山の聖天さまはいつたいな

たをお護りするのでしょうか。実は実盛公は、「お詣りにみえるみなさま方、みんな仏心をお持ちです。なのでどうか聖天さま、お詣りのみなさまを守護してください」という願いを込められました。みなさま方が聖天さまにとつて、守護をするべき仏ということなのです。

聖天さまと十一面観音さまとの縁

聖天さまは仏教の神さまと申しましたが、他にどんな神さまがいらっしゃるかご存知でしょうか。これからみなさまにご見学いただきます奥殿の彫刻にもございます七福神には、弁財天さまや大黒天さま、毘沙門天さまが彫られています。この「天」のつく方が仏教の神さま。寅さんで有名な帝釈天さまもそうです。「天」の神さまは、真言宗をお開きになった弘法大師さまが密教の教えを日本にお伝えくださった時、一緒にお祀りの仕方をお伝えくださいました。

「天」の神さまは、もともとはインドのヒンドゥー教の神様です。日本の八百万神と同じように、ヒンドゥー教にもたくさん神様がいらして現在も信仰されています。そのヒンドゥー教での聖天さまは、ガネーシャという人間の体に象の頭を持たれる神さ

ま。学問、芸術、芸能、商売繁盛の神さまとしてひじょうに人気のある神さまです。

ところが、仏教との関わりをみますと、お釈迦さまの弟子が一生懸命修行をして、どうにか悟りが開けるかという時にガネーシャ神が現れて、邪魔をするわけです。わざわざ現れて、せつかくの修行を壊してしまふ。そんな荒くれた神さまだったわけです。

お釈迦さまの弟子たちは困り果てて、ガネーシャ神がどうか邪魔をしないで欲しいと願った。そこに「私がガネーシャ神を鎮めて仏教徒を守るようにいたしますしよ」とお出ましになったのが、十一面観音さまなのであります。

女性の神さまの姿に変化して、ガネーシャ神の前に行きますと、ガネーシャ神は一目惚れをして「結婚してほしい」と願ったそうです。十二面観音さまは、すぐに「良いですよ。ただし、あなたは神さまとして偉大な力を持つておられる。その力で仏教徒はこれまで邪魔をされてきましたが、今後はその力で仏教を守護してくれませんか」と話したら、「そんなことならお安い御用だ」ということになった。

ガネーシャ神は自身の願いを叶えて十一面観音さまと一緒に、以来仏教を守護する「天」の神さ

まとして信仰を集めているのです。

聖天さまの功德

当山を開創された斎藤実盛公という方は、平家物語などに出てまいります。が、武勇に大変に優れた武将と伝わっております。でも実は非常に情け深い方で、お詣りになるみなさんのために聖天さまを祀られました。聖天さまのありがたいところは、現世利益をいただける。しかも、速疾頓成、速やかにご利益がいただける。当山の一番大きな門「貴惣門」と申しますが、その扁額には「皆与願満足」とございます。これは聖天さまのお経に出てくる一文なのですが、この門をくぐる方は、願いをたくさん持つて入ってください。願ひ事のない人は来なくて良いです。願ひを持つている人には必ず満足を与える、とこういすことが説かれているわけです。

みなさまも、これからもあなりたい、こうなりたいと願ひを持つていただきたい。ただし、人に親切な人間になりたい、という願ひなんかがおすすめです。人に親切にしてさしあげると、自分もなぜか嬉しい気持ちになります。そんなことが仏心の根本なのかと思うわけでございます。そのお心を願ひの



黒田氏に読経する金澤寺様

中に加えていただいて、周りの方々が幸せになるように信仰に励んでいただきたい。おおらかに、胸を張って一生を過ごしていただきたいと願うわけでございます。仏の心をお持ちでしたら、聖天さまが護ってくださいます。本日はご参拝いただき、ありがとうございます。

合掌

観音さまの春のお参り（四月二十九日）に参加して

檀信徒総代 黒田泰男

大型連休が始まり、秩父の「芝桜まつり」による若干の道路渋滞はありましたが、遠くに秩父連山を望みながら、比企郡鳩山町の金澤寺こんたくしを参拝しました。金澤寺は一二一八年に天台宗のお寺として開創、その後一五九〇年に梅叟高和尚により曹洞宗のお寺として中興されました。

この鳩山あたりの窯で焼かれた瓦は、奈良時代、聖武天皇による武蔵国分寺の建立に供給されたとのことです（鳩山窯跡群として一九八四年から八五年にかけて発掘調査が行われた。ゴ

ルフ場の造成に先立ち発見された）。また、南北朝時代の武蔵野合戦で新田軍（南朝方）が鎌倉街道の笛吹峠（鳩山町、嵐山町の境）に布陣し、「旗を立てた山（旗山）」が鳩山の地名の由来とのことです。

金澤寺の宮寺ご住職には、これら鳩山の歴史のご説明、本尊正観世音菩薩のご説明、十六条の戒めの大切さのご講話を頂き、歴史を感じる金澤寺奉参でした。

鳩山町から国道四〇七号線を北上して、熊谷市妻沼の聖天山歓喜院に向いました。大きな樺並木の参道を持つ妻沼聖天山は、一一七九年に斎藤別当実盛公が大聖歓喜天をお祀りしたのに始まり、来年は八四〇年を迎えます。妻沼聖天山は日本三大聖天の一つとして知られ、埼玉日光とも呼ばれています。

本殿の歓喜院聖天堂は、日光東照宮の創建から百年あまり後の享保二十年（一七三五）林兵庫正清及び正信らによつて建立が開始されました。日光東照宮の修復を経験した職人たちによつて、高い彫刻技術、漆の使い分けなどの高度な技術が使われているとのことです。当時は八代将軍徳川吉宗の享保の改革による緊縮財政で江戸城改築などが行われず、腕の立つ職人が聖天堂建立に集まったとのご住職のご

説明でした。庶民の浄財により、四十四年もの歳月をかけて歓喜院聖天堂は建立されています。

この聖天堂は平成十五年から二十二年までの間改修工事が行われ、平成二十四年に国宝に指定されています。権現造りの聖天堂は、各壁面が鳳凰、琴棋書画、三聖吸酸、七福神などの多くの彫刻で裝飾されており、この改修により鮮やかな色彩が蘇り、建立当時の棟梁、庶民の篤い心が偲ばれます。

金澤寺、聖天山歓喜院の参拝を終え、成願寺への帰途、大宮の大宮盆栽美術館を見学しました。樹齢千年とも言われる蝦夷松の盆栽などを鑑賞しました。関東の歴史の一端を感じた「春のお参り」でした。

合掌

春の観音詣りの報告

最高気温二十七度と予想された昭和の日、四十人ほどの参加者は観音堂にてご祈禱後、大型バスに乗り込んで、予定通り七時半に出発。練馬から関越道を北上し、二時間ほどで金澤寺へ到着しました。本堂の背に新緑の山、つつじや紫蘭などの花々が色とりどりに咲いていて、なんとも春らしい風情です。

ご住職の宮寺守正師がお出迎えくださり、まずは



お話をされるご住職の宮寺師

本堂にてご本尊の正観音様にご挨拶のお経を上げさせていただきました。その後、「自らが観音様になる」という題で、お話を賜りました（次号にて紹介）。

最後に本尊様の前に進み出してお焼香、本堂前で記念撮影を済ませると、埼玉県の郷土菓子、「炭酸まんじゅう」をおみやげにいただきました。農村地域では昔から繁忙期や、物日などによく作られていたそうで、蒸しパンのような生地にあんこがたっぷり。素朴でどこか懐かしい味を感じて楽しんでました。

バスは熊谷市妻沼へ向けて北上。一時間ほどで聖天山歓喜院へ到着しました。バスを降りるとボランティアガイド「阿うんの会」の方が早速ご案内くださり、この地の庄司をつとめ、こちらの聖天さまを最初にお祀りされた斎藤実盛公の銅像前でご説明くださいます。実盛公は平安時代後期の武将で、義理人情に厚い人柄や数々の武勇が現代まで伝えられ、特に『平家物語』には「実盛最期」という章で語られているそうです。銅像は、能、歌舞伎などの題材にもなっている、右手に筆、左手に鏡を持ち、戦死

を覚悟した出陣前、老兵と悟られぬよう髪を黒く染めている姿で、後世まで「武士の鏡」と語り継がれています。この実盛公の次男が出家して、本坊である歓喜院を開創されました。

回廊を進むと、途中ご案内のお坊さんよりお香をひとつまみ。これは「塗香」といって、手で採み合わせて身に付けることにより清めになるとされています。本殿にご住職の鈴木英全上人がお出ましくださり、ご本尊大聖歡喜天様にお経をあげさせていただきました。ご住職により、参拝者一同の身体健全、福徳円満、家内安全、諸願満足の願文が読み上げられ、ありがたい気持ちで焼香をさせていただきました。客殿に移ると茶菓のおもてなしを受けながら、ご住職よりお話をいただきました（一頁参照）。

普段、儀式にお使いになる本殿前の石段を特別に



国宝の御本殿にて読経



ご住職と記念撮影



精巧を極める彫刻群を見学



盆栽の見どころを

開けてくださったの記念撮影。その後、再びガイドの方に導かれ、本殿の色鮮やかで見事な彫刻を見学させていただきました。

境内に店を構える老舗「千代枺」でうな井と冷たいうどんのお昼をいただき、おなかいっぱい。お土産物屋さんを覗いたあと、バスに乗り込みました。

最後に大宮の盆栽美術館へ。近年外国人にも大人気の「BONSAI」。関東大震災で壊滅的な被害を受けた盆栽業者が盆栽育成に適した土壌を求めてこの地にいたり、盆栽町という地名もあるほど盛んな地。名品といわれる百点ほどを季節に応じて展示しているそうで、我々よりもはるか先輩の五葉松や真柏などを見学。真、行、草のそれぞれの形式で作られた座敷には、床の間に季節、格に応じた軸、水石とともに盆栽が飾られていて、伝統的な文化芸術との認識を新たにしました。成願寺には夕五時頃帰着。観音堂にてご祈禱後散会となりました。

……冒頭の最高気温は東京の予想で熊谷はもっと暑い。貸し日傘の存在を初めて知った旅でした。

時間の流れ 中野坂上寺ヨガ講師 丸茂 磨

私の名前は「磨^ま」といいます。七歳くらいの頃でしうか。当時名前を茶化されていたことに耐えかねて、母親に改名して欲しいと訴えたことがあるんです。

母が私に言いました。「じゃあ、わかった。あと一年考えてみよう。一年経つても気持ちが変わらなかつたら、一緒に名前を変えに行こうね」。

その言葉を信じて一年間をワクワクして過ごした私は、ちょうど、少女から大人の階段を登っていて。一年後には、名前をすっかり気に入って愛していたのでした！ 唯一無二の私にぴったりの名前だ。

時間の流れには、はかり知れない力があると思います。

駅で喧嘩している大の大人を見かけます。傘がぶつかったとか小さなことかもしれないませんが、当の本人たちは気持ちが悪まらない様子。それが一日経ち、二日経てば後悔に変わったりますのに。

祖父が亡くなったとき、何もしてやれなかったと自分を責めたのに、今では良い思い出が強く残っています。ゆっくりゆっくり薄らいでいくのですが。

失恋も時間の流れがはたらいて、過去になつていくから今を楽しく生きられるんですよ。

そんな時間をやりすぎず時、どうしても気持ちを抑えられない時こそ、ヨガが必要で。体を伸ばして、呼吸を深くする。目を閉じて、全身の緊張をとっていくと体があたたまり、心がスーッととして、そこはかとなく至福感を感じられるんです。あとは美味しいものを食べて気ままに過ごしたいですね。

その対象から離れながら、自分らしくいられる時間を持つことが大切なかもしれません。

丸茂磨：アンダーザライトヨーガスクール認定ヨガマスター／スワミチエータン アーナンダヨガ認定ヨガインストラクター／2500時間認定 1500時間認定 ヨガインストラクター／リザロウィッツ認定 20hourリストライティウティチャー／スタジオヨギー認定 ヨラベヌーシス namasteas キッズヨガインストラクター／BEバリラトゥトラティシヨナルバリニーズマツサージトトレーニングプログラム終了



お寺の畳敷きの和室で行う贅沢なレッスンです。忙しい毎日だからこそ、心の静けさとカラダの健やかさを味わう特別な時間を作りましょう。初心者にも経験者にも深い充足感が得られるよう構成されています。幅広い年代の方におすすめできるクラスです。日常生活とは一味違うこのレッスンをどうぞお楽しみください。詳細は中野坂上寺ヨガで検索。予約・検索は zeroyoga@gmail.com まで。

山内短信

◎オマーン国大使閣下より感謝状を賜る

去る二月八日(木)、駐日オマーン・スルタン国大使館に於いて、ハリッド・ビン・ハシル・ビン・モハメッド・アル・ムスラヒ大使閣下在任十年を祝う祝賀感謝会が「日本オマーンクラブ」主催で開催されました。



感謝状をいただく住職

当山は長年に渡り、オマーンからの留学生と日本の学生の交流を目的とした「日本オマーン学生交流会」の場を提供してきました。お寺への宿泊、坐禅、豊の歩き方、挨拶の作法などを



感謝状

成願寺住職 小林貢人 殿

日本オマーンクラブが組織する成願寺留学生の毎年の日本人学生とオマーン人学生との交流会の執行・支援の功績顕著なものがあります。本行事及びオマーン人学生の個人に対する惜しみない貴殿の支援は参加者間の相互理解と友好を大きく増進しており、深く感謝の意を表します。

2018年2月8日

駐日オマーン・スルタン国大使
ハリッド・ビン・ハシル・ビン・
モハメッド・アル・ムスラヒ

体験していただけてきたことから、この功績が認められ、ムスラヒ大使閣下より感謝状を賜りました。

◎「文化財防火デー」防火演習の報告

毎年一月二十六日は「文化財防火デー」です。昭和二十四年、法隆寺金堂が火災に遭い、貴重な仏教壁画などを焼損したことから文化財を守ろうという機運が高まり、昭和二十五年に文化財保護法が制定され、続いて昭和三十年に「文化財防火デー」が定められました。以来、全国の神社仏閣で広くこの日に防火演習が行われています。当山も中野消防署、消防団、東郷町会、成願寺自衛消防隊の合同で、本堂より出火したことを想定し、通報、初期消火、文化財の搬出、放水という一連の訓練を行っています。今年も付属中野たから幼稚園、近隣の幼稚園、保育園から子どもたちが多数見学に来山。放水が始まると、大きな歓声が上がりました。



本堂から文化財に模した箱を搬出



本堂へ向け、放水訓練

保育園から子どもたちが多数見学に来山。放水が始まると、大きな歓声が上がりました。